

受 付	代 表 質 問 令和 年 月 日	第 号 時 分
--------	---------------------	------------

## 一 般 質 問 < 代 表 > 発 言 通 告 書

令和6年2月14日

長久手市議会議長 殿

会派名 公明党

長久手市議会議員 ささせ順子

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質 問 事 項 及 び 要 旨	備 考
1	<p><b>市長施政方針について</b></p> <p>(1) 「子どもがすくすく育つまち」について</p> <p>ア 本市は切れ目ない子育て支援を継続的に拡充し、多くの住み良さランキングで上位の評価を受けている。一方で、令和4年度の市民意識調査では、「子育て環境がよくない」と感じる市民の割合は、平成28年度の調査時と比較して増加傾向にある。少子化が急速に進む中、子育てには経済的・精神的負担感や社会的な孤立感が伴いやすい。子育て世代が「子育てしやすいまち」と実感できる環境を構築する上で、市長が捉えている課題は何か。</p> <p>イ 中学校の休日の部活動の地域移行について</p> <p>中学校の部活動の地域移行に向け、長久手市部活動検討委員会が、「地域クラブ」の設立準備を進めている。</p> <p>この過程について、保護者や子育て・文化活動団体から検討プロセスへの参加と情報共有の要望が寄せられている。</p> <p>スポーツ庁と文化庁は、令和5年度から3年間としていた公立中学校部活動の地域移行の目標達成時期を見直し、「可能な限り早期の実現を目指す」と改め、準備期間の制限は外されている。</p> <p>市民目線に立ち、よりオープンで包括的な検討がなされ</p>	

るよう求めたいが、市長の考えを伺う。

ウ 愛知県警が開発した子どもの安全を守るアプリ「コドモモ」の実証実験が、昨年、全国で最も平均年齢が若い本市の中学生を対象に実施された。増加する子どもの性被害を防止するため、より多くの市民にこのアプリの周知・啓発を行わないか。

(2) 「高齢者に優しいまち」について

東部地域を対象にデマンド交通の実証実験が予定されている。本市は平成30年度と令和元年度に定額乗合タクシーの実証実験を行ったが、「リピーターが多く外出促進に繋がらなかった」として事業化には至らなかった。

一方、近隣市では実証実験を実施するにあたり、80回もの説明会を実施し、人気喫茶店とコラボしてイベントを企画するなど、市民が参加したくなる工夫を凝らした上で事業化に至っている。

東部地域の高齢者はデマンド交通の運行を待ち望んでいると思われる。今回の実証実験における具体的な目標と、過去の実験からの学びをどのように活かしていくのか、市の見解を伺う。

(3) 「安心安全なまち」について

令和6年能登半島地震の発災後、厳寒の中で学校体育館に避難した人々が寒さと戦う生活を強いられている。平成30年度版「文部科学白書」では、大規模災害が発生すると、避難所の指定の有無にかかわらず、地域住民や帰宅困難者は学校へ避難することが明らかになっている。財政負担は大きいですが、避難時に安心して過ごせる環境の重要性から、学校体育館に空調設備を設置する自治体が増えている。昨夏は国連が「地球沸騰化時代の到来」と発表し、夏場の平均気温は史上最高を更新した。大規模災害時だけでなく、日常的に使用する小中学生の命をこうした気象現象から守るためにも、学校体育館への空調設置の検討を積極的に進めないか。

(4) 「文化芸術・スポーツのまち」について

文化財保護法は、国や地方公共団体は文化財を保護し、保存・活用する責任を有すると定め、文化財が次世代にわたり価値を持ち続けるために、適切な管理・活用がされるべきだと示している。

愛知県の文化芸術課文化財室の見解では、国、県、市の文化財指定を受けないものであっても、歴史上価値が高いと認められる場合は文化財保護法第3条の規定が準用されるとしている。歴史的価値のあるものとそうでないものを区別するにあたっては、自治体は法に則り、正しいプロ

	<p>セスを踏まえて判断することが求められる。今回古戦場公園への移築が中止された古民家の価値について、どのようなプロセスを経て判断されたのか伺う。</p>	
2	<p><b>プラスチック資源の循環と共同研究について</b></p> <p>政府は令和4年4月にプラ新法（プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律）を施行し、自治体に家庭のプラスチック廃棄物の分別収集と再利用を努力義務と定義した。</p> <p>これを受けて、市は「ごみ減量・収集アクションプラン」を策定し、ごみの効率的な収集とリサイクル、市民への啓発活動を推進している。令和5年度からは、プラスチック製容器包装だけでなく、現在燃えるごみに分類されているプラスチック製品も資源回収の対象にする「プラスチック一括回収」の導入を検討している。現在の進捗状況と課題を伺う。</p>	